

## 2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 001	Aグループ	年月日	令和5年6月11日(日)
---------	-------	-----	--------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

そろそろ就職種地をはじめなければいけないと思うが、内定をもらえるか不安である。大学のガイダンスに参加して、スケジュールや自己分析が大切なのは分かったが、他に「勝去みたいな静報あれば欲しい。やってみたい仕事のイメージはあまりできておらず、親からは「人見知りしないし営業よいのでは」と言われており、パソコンの作業も苦手なので、事務系も出来ると思っている。親は安定が大事だと言っていて、自分もその通だと思っており、大手でないと負が組むとSNSでも見たが、大企業は人気で倍率が高いので苦戦するのはいやだなと思っている。安定した会社で就職したいが、内定が取れないのも困るし、どうしてもわからないことが問題

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

(1)勝去の静報を求めたり、SNS等周囲の静報に惑わされて、内定を取ることが目的になっていると思われる。(2)やってみたい仕事イメージができていないが、親から営業が良いと言われたり、PCも苦手なので、事務系も出来ると思等の発言があり、自身の得意不得意、興味関心等の職業適生の自己理解が不足していると考えられる。(3)親からの安定が大事、SNSの大手じゃないと負が組むと言葉だけで「大企業が良い」や、「大企業=安定」と思っていたり、大企業のメリットデメリット等の檢がされておらず、仕事理解が不足していると思われる。(4)自身が何を目標として就職活動、就職した後、何に向って、どんな風に働きたいのか中長期のビジョンがないことが考えられる。

問題3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

- ①(目標) 働く目的を明確にして、自律的に就職活動が出来るようにすること。具体的には、(1)自身の興味関心、価値観、得意不得意等の自己理解を深め、就職活動の方法や働く意義について改めて考える。(2)自分にあった会社や、就職活動の情報を知れるようにする。(3)就職後の中長期的なキャリアビジョンを考える。これらが自律的に行動できるように支援をする。
- ②(方策) (1)不安を抱えながら就職活動について考え、相談してきた相談者に寄り添い、傾聴しながらラポール形成を努める。(2)就職活動を開始するにあたり、何のために働くのか、働く意義、目的等について、質問を通じて自身で考えてもらう。(3)なぜこの大学や学部を選んだのか、アルバイト経験、学生まで力を入れてきた事、子供の頃好きだった事等話を重ねて、自身の興味、関心、価値観、得意不得意について思い起こしてもらい、必要であればアセスメントテストを実施する。(4)大学のキャリアセンターや交友関係からOBやOGの話を聞ける機会を作ることを提案し、実際の就職活動や仕事に就いた後の話を聞き、ネット情報でなく、生の声から働くことや、就職活動の方法についてイメージ、情報収集をサポートする。(5)大学に来ている求人や「新卒用の就職Webサイト」に来ている実際の求人の中で、自分が興味をもてる求人がどんな仕事で、どんな人を求めているのかを情報収集することを提案する。(6)安定とは何か?大企業で就職し、働くことのメリット、デメリットを紙に書き出しながら考えてもらう。(7)就業した後、どんな風になりたいのか、キャリアだけでなく、ライフビジョンも含めて中長期的な視点でキャリアプランを考えてもらう。以上の施策から、自身の目標にあった就職先を考え、それに向けた就職活動が自律的に行動出来るように支援していく。

## 2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 002	Aグループ	年月日	令和5年10月9日(月)
---------	-------	-----	--------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

就職活動を始めなければと思っており、内定をもらえるか不安。大学のキャリアガイダンスに参加し、大体のスケジュールや自己分析の大切さは分かったが、他に就職活動の攻略法や有利な必勝法、内定をもらいやすい業界やあれば有利な資格とかあれば知りたい。やってみたい仕事や興味ある仕事についてはイメージ出来ておらず、親からは人見知りしないので営業もいいのでは、と言われては事務系も出来ると思っている。安定が大事と親は言っており、自分もその通いと思っている、SNSの情報から大手志向もあるが、苦戦するのは嫌だと思っている。安定した会社で就職したいが内定が取れないのも困ると思、どうしたらよいかわからない事が問題

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

CLの問題は主に3つあると考える。(1)就職活動の攻略法・必勝法や、あると有利な資格を知たかったり、内定を取る事が目的になっていたりと思われる。また倍率や人気の高い大企業で苦戦するのは嫌だと発言している事から、就職活動に対する真実味欠缺、安易に考えているように感じられる。(2)親から安定が大事だと言われてたり、SNSでの大手じゃなきゃ負け組、との情報を見たりするなど、周囲や環境に影響されているように感じられ、自身の就職活動に主体性がなく、仕事理解の不足が見受けられる。(3)現在CLが自発的に行った就職活動は、キャリアガイダンスに参加した程度であり、就職活動全体に対する情報収集不足や知識不足が感じられる。

問題3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、  
②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

- ①(目標) CLが自身の就職活動について、働く目的や意義を主軸的且つ自律的に捉え、自身の興味関心や価値観・適性について考えられるようになる事。その上で、働く目的や意義を踏まえたうえで、就職活動の軸を明確にし、自身の志望する業界や企業について自ら選定出来るようになり、必要な信頼を立、前向きに就職活動に取り組んで行けるようになる事。就職後のキャリアビジョンを明確化する事。
- ②(方策) まずは、就職活動を始めるにあたり、内定をもらえるか不安でどうしたらよいかわからず、苦戦するのは嫌だと感じているCLの気持ちを受け止め、就職活動に対する思いや価値観を傾聴し、ラポールの形成を努める。そして、上記であげた4つの問題点を解消するために、次の3つの方策を実施する。(1)攻略法や必勝法、有利な資格を知たがるなど、就職活動で苦戦するのは嫌だと思っている事について、丁寧にお気持ちを伺いながら、就職活動に取り組む心の準備を促し、内省を深めていただく。また大手企業や人気企業で働くOB・OGから就職活動についての話を聞くことを提案し、大学のキャリアセンターで先輩紹介の確認を促す。(2)CLの自己理解・職業興味について、好きなことや得意な分野、教科書についてのお話を伺いながら、自己の振り返りをさせていただく。それから並行して職業興味検査について情報提供を行うが、大学のキャリアセンターで実施しているものは、か・ハローワークの就職支援ナビゲーター(学卒担当)窓口でのVRTカードやキャリアインサイト・job tag サイト内にあるGテストなどの実施の可能性を一緒に考える。(3)大学キャリアセンターの相談窓口や、就活サイトの情報にアクセスし、就職活動の始め方から必要な準備、インターンシップ制度やエントリーシートの書き方、求人情報、模擬面接など、情報収集することを提案する。

注：解答は質問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。

2級実技(論述)解答用紙 1.1